

## はじめに

南部広域行政組合・島尻教育研究所の大城朗と申します。平成 29 年 4 月から 2 年間、所長をすることになりました。宜しくお願いいたします。

さて私は沖縄県教育庁義務教育課長時代に「5 分間課長講話」を実施していました。貴重な指導主事の時間を拘束するのですから時間内に理路整然と話ができるよう、あらかじめ原稿を書いてから話をし、2 年間で 265 回実施しました。

「①生涯学び続けること、②自己開示、③プラス思考」を基本的なコンセプトとして、最初に話したいテーマを決め、起承転結を考え、5 分間分の文章（1600 字程度）を書き、「①分かりやすい文章か？②指導主事等のためになる話か？③自慢話になっていないか？」についてチェックし、話をするようにしていました。

講話は教育の内容に限定せず、一日の仕事や生活を通して、自分の琴線に触れたことを話すようにしました。正確な年号、名前、内容等に心がけ、必ずインターネットや辞典や本等で調べて、正確さを期しました。

噂を聞いて、多くの方から「読んでみたい」とアクセスがありましたので、電子媒体で差し上げました。製本した冊子と電子媒体で 600 ～ 700 人の方に差し上げたと思います。

今回島尻教育研究所の所長をすることに当たり、同じようなコンセプトや手法で「所員の意欲を高めるための 5 分間所長講話」を実施することにしました。週に 3 回程度実施をすることにしています。島尻管内の学校職員や保護者の方々にも読んでいただきたいと思い、島尻教育研究所のホームページにアップすることにしました（もちろん島尻地区以外の方でも大歓迎です）。

島尻管内の子どもたちのために（沖縄の子どもたちのために）、協力して頑張ろうという気持ちが、今よりも少しだけ高まると嬉しいです。

今回も取り上げる話のテーマは、教育の内容に限定せず、私の一日の生活や仕事を通して、琴線に触れたことをお話したいと思っています。

過去の体験等、義務課長時代に書いたことと重複することもあるかも知れませんが、私の「新たな一滴」で、今の感性で書きたいと思っています。

毎週金曜日までにその週の 3 話をまとめてアップします。読んでくださると嬉しいです。

平成 29 年 4 月  
南部広域行政組合島尻教育研究所  
所長 大城 朗